

発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)

2020年3月30日

ニュースレター 2020年3月号

親愛なる里親の皆さま

「発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)」より、ご挨拶申し上げます。

この2週間のうちに、コロナウィルス (COVID-19) とそれによる重大な健康課題が憂慮すべき広がりを見せています。テレビや新聞などの報道によると中国に始まったこの致命的ウィルスは、日本を含む多くの国々の人々の生命を危険にさらしています。誰もが有る種の試練に晒され、失意と落胆の状況下にあります。このコロナウィルスの大流行による不安と恐れが世界中、そして各家庭に広がる中であって、皆さんとご家族の健康が守られ、お変わりなく過ごしておられることを願い祈らされています。

現在、世界の衛生専門家は、各国の人々にソーシャル・ディスタンス (他者との不要な接触を避ける) を推奨しており、インド政府は、これを大変厳しく実施しています。これはただ単に病気にかからないようにということだけではなく

感染速度を減速させて感染を抑えるためです。インドは特に人口密度が高い国であり、貧しい人々が多いので、この措置が医療崩壊を回避する歯止めとなるようにとの狙いがあります。

インド政府は3月16日から教会や他の宗教施設での礼拝を3週間禁止し、その後はまた検討するとしています。場合によってはイースターが終わるまで礼拝に集うことは出来ない可能性があります。この決定には大変辛いものがあります。会衆として共に過ごす時を持つ事は宝であり、同じ場所に集うことが出来ないことには耐え難いものがあります。

コロナウィルスのパンデミック (世界的大流行) は、インドにいるわたしたち、わたしたちの家族、そして会衆厳しくのしかかっています。日本でもそして世界中どこでも同じだと思います。わたしたちの生活を崩壊させないために、また、ウィルス感染拡大を減速させるために、そしてウィルスの影響を日々の生活の中で最小限に止めるために、個人、団体、各事業がその活動の調整に努めています。

この状況が続く限り、わたしたちが皆さんのことを祈りにおぼえているということを忘れないでください。また皆さんも、どうぞ、わたしたちのことを引き続き祈りにおぼえ、特にコロナウィルスに感染された方々、病んでいる人々に仕えている方々、医療従事者、治療薬開発者、感染防止に取り組む方々のためにもお祈りをお願いします。

友である皆さん、キリスト者として、また神に愛される子どもとしてこのチャレンジに誠実に、そして勇敢に共に立ち向かいましょう。わたしたちは救い主イエス・キリストに信頼をおいています。今は恐れと孤独の時かもしれません。しかし、これは新たな光の内に物事を見つめなおす、すなわち、孤独と祈りの中で神に出会うために、わたしたちの主と共に荒野に退く良い機会なのかもしれません

詩篇91篇4節～7節は語ります。「主はその羽をもって、あなたをおおわれる。あなたはその翼の下に避け所を得るであろう。そのまことは大盾、また小盾である。あなたは夜の恐ろしい物をも、昼に飛んでくる矢をも恐れることはない。また暗やみに歩きまわる疫病をも、真昼に荒す滅びをも恐れることはない。たとい千人はあなたのかたわらに倒れ、万人

はあなたの右に倒れても、その災はあなたに近づくことはない」。

世界中がこの危機に向き合う時、聖霊に目を向け、試練と受難のただ中であって、わたしたちに力と勇気を与えてくださるようにと願いましょう。さらにこの患難に直面して、皆さんが「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つ、わたしたちの前に置かれた行程を忍耐をもって走り抜」かれることを願い求めます。このような時こそ、皆さんとわたし、そして家族のすべてがイエスさまを見上げるようにと祈ります。イエスさまには答えがあり、このパンデミックからわたしたちを救ってくださる力があります。主の慈しみの深い愛が私たちを包み、守ってくださいますように。

(訳：エイカーズ愛 小林洋一)

心と祈りを込めて
キリストにあって
ディレクター S.Kモハンティ

プリキンダーガルテンスクールをご支援して下さる皆さま

聖名賛美。

世界中で猛威を振るうコロナウィルスの不安の中にも、復活の主の希望と光を頂き日々お過ごしのことと存じます。

ニューズレターが届いた後のインドの近況をご報告します。

お祈りに加えていただけますと幸いです。

◎インド政府がロックダウン発令のためスクールは3月16日から閉鎖が続き解除される予定の5月3日の数日後に再開予定

◎生徒たちとの連絡は密に取っている。風邪をひいている2人の子ども以外は元気に過ごし、その2名も回復している。

◎敷地内に住んでいるスタッフのトゥクナさんが腰痛のため歩行困難

モハンティ師からの近況報告(抜粋)

近隣諸国に比べるとインドはまだ良い方ですが、外出禁止に関する警察取り締まりが厳しく救急関係者以外はバイクに乗ることも禁じられています。私も高齢者(67歳)なので敷地外に出る事は禁じられていて、実際3月15日以来敷地から出ていません。コロナウィルスの酷い状況のためみんなでお祈っています。

2019年度の会計報告は監査業務を延期するため、多少遅れます事をお詫びいたします。

2020年4月15日

プリキンダーガルテンスクール里親の会
世話人会代表 松本素代